

【評価対象年度 2021年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	デイサービス忠生		
施設概要	【所在地】町田市忠生一丁目19番2号 【開設年月】2001年5月 【開館日時】月曜日～土曜日(祝日、12月31日～1月3日を除く)／8時30分～17時30分 【建物面積】253.98㎡ 【建物内容】機能訓練室100.8㎡ 静養室 11.205㎡ 相談室15.84㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 地上1階地下1階建(うち1階部分)		
設置目的	市内の介護を要する在宅の高齢者等を通所させ、介護保険法に基づくサービス等を提供することにより、その者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。		
設置根拠法令・条例	町田市高齢者在宅サービスセンター条例		
所管部課	いきいき生活部高齢者福祉課	問合せ先	042-724-2141
施設ホームページURL	https://www.kaedenokaze.com/service/day-care/tadao/		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 楓の風	法人番号	5012305000438
指定管理者所在地	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-32-13 第2安田ビル3階		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	介護保険法、町田市高齢者在宅サービスセンター条例に基づき、以下に示す事業を行う。 ・法第8条第7項に規定する通所介護 ・法第115条の45第1項第1号ロに規定する第一号通所事業		
利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
社会的自立支援アウトカム尺度(SIOS)を用いた目的ケアの実施	2023年度	SIOSを用いた目的ケアの実施を開始している。
施設新聞の発行・パンフレットのリニューアル	2023年度	2020年度にパンフレットリニューアル済み。2023年度、リニューアル予定。定期新聞発行はないが、感染予防などのお知らせは定期的に行っている。
防犯カメラの設置による事故分析及び防犯	2023年度	防犯カメラでの動作分析をすることで介助方法や見守り方法を事故に至る前に検討することができ、大きな事故を予防することができている。

3. 昨年度の課題

内容	利用率向上を図るとともに地域住民及び地域教育機関等と連携を行い、地域に根差した運営を目指す。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	C	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	「2.選定時の提案内容」について、SIOSを用いた取り組みは維持改善率の低下が見られるため、評価基準の見直しを含め、2023年度時点での達成の判断基準を明確にしてほしい。 「3.昨年度の課題」への対応状況については、昨年度から利用率は1.5ポイント向上した。また、地域住民及び地域教育機関等との連携については今年度も未実施であり、「6.業務履行状況の確認」の地域貢献に関する項目においても評価が「否」となっている。 所管課としては、2年連続で評価基準を満たしていないことは課題であると考えているため、今後の対応に関して、指定管理者が検討した結果の報告を求めたい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	アンケート結果については昨年同様に水準以上の数値となっています。2020年度より開始したSIOSを利用して主体的な活動と参加を目指しプログラムとして取り組んだことへの評価と感じます。一方でSIOSの維持改善率が低下しています。中重度の方の利用率が45%前後で、徐々に身体機能の低下がみられる中でも活動や参加を維持向上されている方もいることは、とても素晴らしいことであると感じています。今後も継続して利用者の思いを引き出し、活動と参加へつなげたいと考えます。利用率については横ばいとなっていますが、利用者登録数は68名から73名と増加しています。今後も営業活動を積極的に行い、利用率の向上に努めます。 一昨年、昨年と同様に、地域貢献(ボランティア・研修生)の受け入れが行えていない状況です。コロナ禍で利用者の安心感を一番と考えた際の地域貢献を継続して検討します。	

【評価対象年度 2021年度】

5.サービスの質に関する評価

【利用者満足度調査】

調査概要	【調査期間】 2022年3月7日～3月19日 【配布枚数】 68枚 【回収枚数】 55枚 【回収率】 80.9% 【調査方法】 利用者への説明及び必要な方は家族へ説明を行い配布する。回収用の投函ポストを設置し自身で投函する事ができない方は連絡帳袋に入れて頂き、職員がポストに投函する。
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A: 85%以上 B: 70%以上～85%未満 C: 70%未満	90%	92.7%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	90.9	92.2	92.7		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用率 (1日あたり平均)	A: 70%以上 B: 60%以上～70%未満 C: 60%未満	85%	65.7%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	80	80	85	90	90
実績値	64.3	64.2	65.7		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
社会的自立支援アウトカム 尺度(SIOS)を用いた目的 的ケアの実施	SIOSスコアの前年度(前回)から の維持改善率 A: 90%以上 B: 80%以上～90%未満 C: 80%未満	90%	62.90%	C	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	-	90	90	90	90
実績値	-	76.5	62.9		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	概ね水準どおりである。 利用者満足度調査は、昨年度より満足度と回収率が向上した。今後もアンケート結果をサービスに反映させながら、満足度の向上に役立ててほしい。 利用率については、新型コロナウイルス感染症の影響で減少があったものの2020年度から1.5%増加した。今後も感染症対策を徹底しながら利用率向上に取り組んでもらいたい。 SIOSを用いた取り組みは維持改善率の低下が見られるため、評価基準の見直しを含め、今後の取り組みについて検討してほしい。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2021年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	平等・公平な取扱い	利用希望者全ての受入	介護度で区別を行わずに受入していることを事業報告書で確認。	適
	サービス内容の公開	パンフレット、ホームページなどでサービスの内容を公開	パンフレット、ホームページでサービス内容を公開していることを確認。	適
施設・管理運営方針	適正な自己評価	定期的な実施	定期的な自己評価を実施していることをヒアリングで確認。	適
	設備機器安全管理・保守点検	機器に応じた点検の実施	機器に応じた点検実施を保守点検票で確認。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報の適切な保管	保管場所のセキュリティを確保	紙媒体は鍵付き書庫で保管し、電子データはID、パスワードで管理していることを事業報告書で確認。	適
	情報公開の制度を周知	利用者等に制度を説明	契約時に個人情報の取扱いについて説明していることをヒアリング及び契約書で確認。	適
要望対応	対応記録の共有	要望・苦情記録簿等による情報共有	マニュアルに基づいて報告書を作成し、情報共有をしていることを事業報告書で確認。	適
	苦情の発生抑制のための対策	相談窓口の周知	契約時に苦情相談窓口について説明していることを事業報告書で確認。	適
危機管理	緊急時に備えた体制	マニュアルに沿った指導訓練の実施	年間の実施計画に基づき防災訓練を実施したことを実施結果資料で確認。	適
	リスクへの対応能力	保険等への加入	賠償責任保険に加入していることを保険証券の写しで確認。	適
人的安定性	職員の指導育成	計画的な研修の実施	計画的に研修を実施していることを年間計画表及び結果確認表で確認。	適
	適切な人員配置	法令を遵守した人員配置	必要な職種について適正な勤務体制が組まれていることを勤務表で確認。	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減に向けた取り組み	光熱水費や消耗品などの経費の縮減	消耗品購入時、複数事業所を比較し通常の価格より安価に仕入れ、経費削減していることを事業報告書で確認。	適
	職員への周知・啓発	職員への周知・啓発の実施	施設内に節電・節水に関する掲示をし、カンファレンスで周知・啓発していることを事業報告書で確認。	適
地域貢献	地域教育機関等との交流	実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れ	未実施であることをヒアリングで確認。	否
	市民雇用	町田市民の割合が50%以上	職員14名中町田市民が9名であり、割合が64%であることを職員名簿で確認。	適

【評価対象年度 2021年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2022年1月24日に楓の風グループ本部にてモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2022年1月24日に楓の風グループ本部にてモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
否	一部の項目について要求水準に満たしていない点があった。 【改善が求められる点】 実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れについて、新型コロナウイルス感染症の影響による未実施であったが、昨年度も未実施の項目である。新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで地域教育機関等との交流が取れる方法について検討してもらいたい。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2019		2020		2021		2022		2023	
	予算	決算								
収入	指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用料金	53,500	57,063	54,570	59,661	55,661	62,757	56,774	57,911	
	自主事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	400	59	408	548	416	193	424	433	
	計	53,900	57,122	54,978	60,209	56,077	62,950	57,198	0	58,344
支出	人件費	32,280	30,075	32,603	32,295	32,929	36,138	33,259	33,591	
	維持管理経費	11,267	10,033	11,374	11,185	11,482	11,611	11,590	11,700	
	自主事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	3,500	4,496	3,535	4,524	3,570	3,557	3,606	3,642	
	計	47,047	44,604	47,512	48,004	47,981	51,306	48,455	0	48,933
総計(収入-支出)	6,853	12,518	7,466	12,205	8,096	11,644	8,743	0	9,411	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	0.5	-10.5	-19.2		
負債比率	70.1	330.1	1017.3		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。本部の引越等により本部コストが増加したことに加え、経常利益の減少に伴い純資産が減ったため負債比率が増加している。